

## 公園内での花火利用に関するアンケート結果報告書

### 1. 調査目的

現在、公園を多様な形で利用していけるよう取組を進める一環として、当課が管理する公園内での花火利用の可能性を検討しています。本アンケートは、公園内での花火利用の市民ニーズと懸念点を把握し、制度検討することを目的として実施しました。

### 2. アンケート内容と結果および考察

実施期間：令和7年8月28日～令和7年9月30日

調査方法：オンラインアンケート

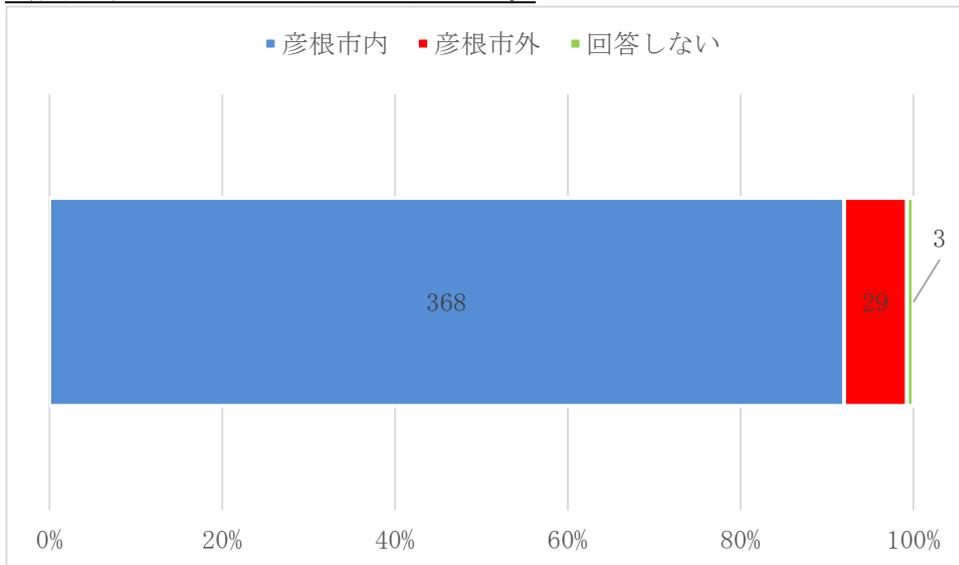
回答者数：400名

#### (設問1) 年齢を選択してください。



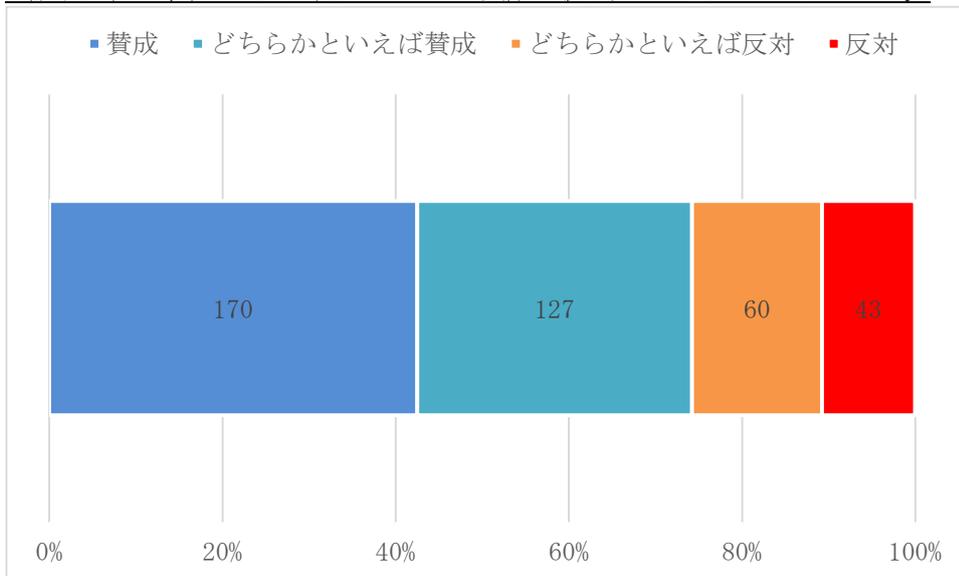
回答者の年齢層は、30代と40代で占められていますが、その他の年齢層からも一定数回答を得られているため、幅広い年齢層の意見が反映されていると考えられます。

**(設問2) おところを選択してください。**



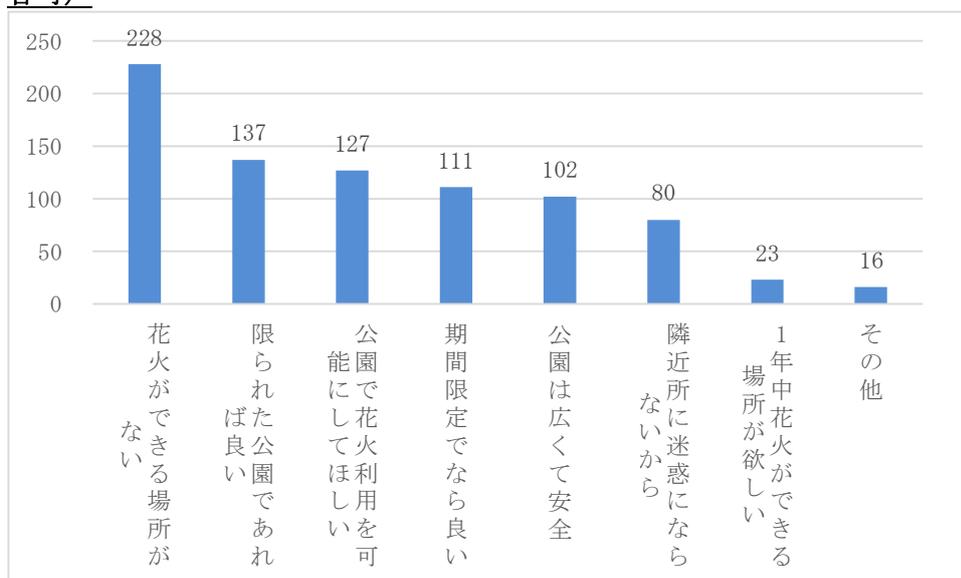
アンケート回答者の92%が彦根市内の居住者であることから、今回のアンケートの結果は、彦根市民の声を反映したものと捉えることができます。

**(設問3) 公園での花火利用について賛成か反対かを選択してください。**



「賛成」および「どちらかといえば賛成」を合わせると全体の74%という結果であり、公園内での花火利用に対するニーズがあることがわかります。

**(設問4) 賛成またはどちらかといえば賛成を選んだ方は、その理由を教えてください。(複数回答可)**

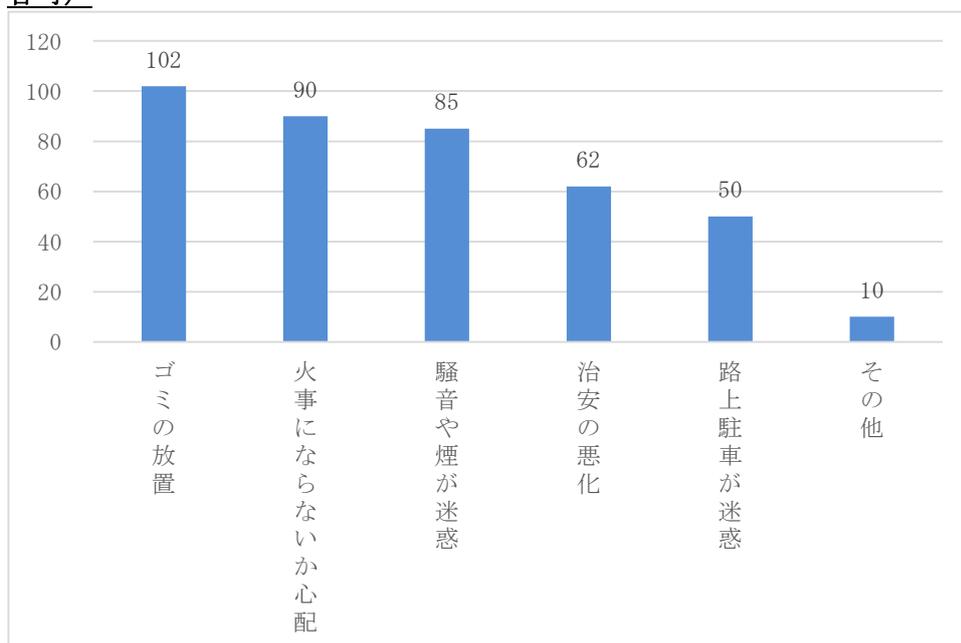


**(その他の意見)**

- 制約ばかりだと逆に問題のある場所で利用される恐れがあるため
- 何もかも禁止するのは、市の職務放棄。利用可能にする事を前提に、しっかり検討すべき
- 時間制限は必須、電子申請の事前申告と写真で消火報告も、夜9時までが妥当
- 時間帯を決めて欲しい
- 全面禁止だと反発がありそう
- 互いが気持ち良く過ごすためのルールは必要だが、それに沿っての利用ならば良いと思う
- 琵琶湖岸でも安全確認したら花火をやりたい
- 広場など安全性がある場所で条件付き（何時まで、ゴミは必ず持ち帰るなど）を提示し守れるなら良い
- 水道があるので万が一の時に消火活動がすぐにでき、消防へ通報する際に場所を明確に伝えられやすい
- ゴミの処理などルールを守れば良い
- 都市計画課職員常駐する必要がある
- ゴミは持ち帰るのなら
- 20代の息子が友達と花火をしたいが場所がないと困っている。する場合バケツを用意して、持ち帰るようにしてほしい
- ご近所さんに配慮するために時間を制限したりする
- どこで花火できるかわからず、貰った花火を捨てるだけになっている。子どもにも安全に花火をさせたい
- 花火の仕方を教えられる世代が少なくなって逆に危険なので体験させた方がよい

結果から、回答者の多くは、彦根市には花火ができる場所がないと感じており、公園を広くて安全で近所迷惑にならない場所であることから、条件付きで公園内での花火利用を求める声があると考えられます。

(設問5) 反対またはどちらかといえば反対を選んだ方は、その理由を教えてください。(複数回答可)

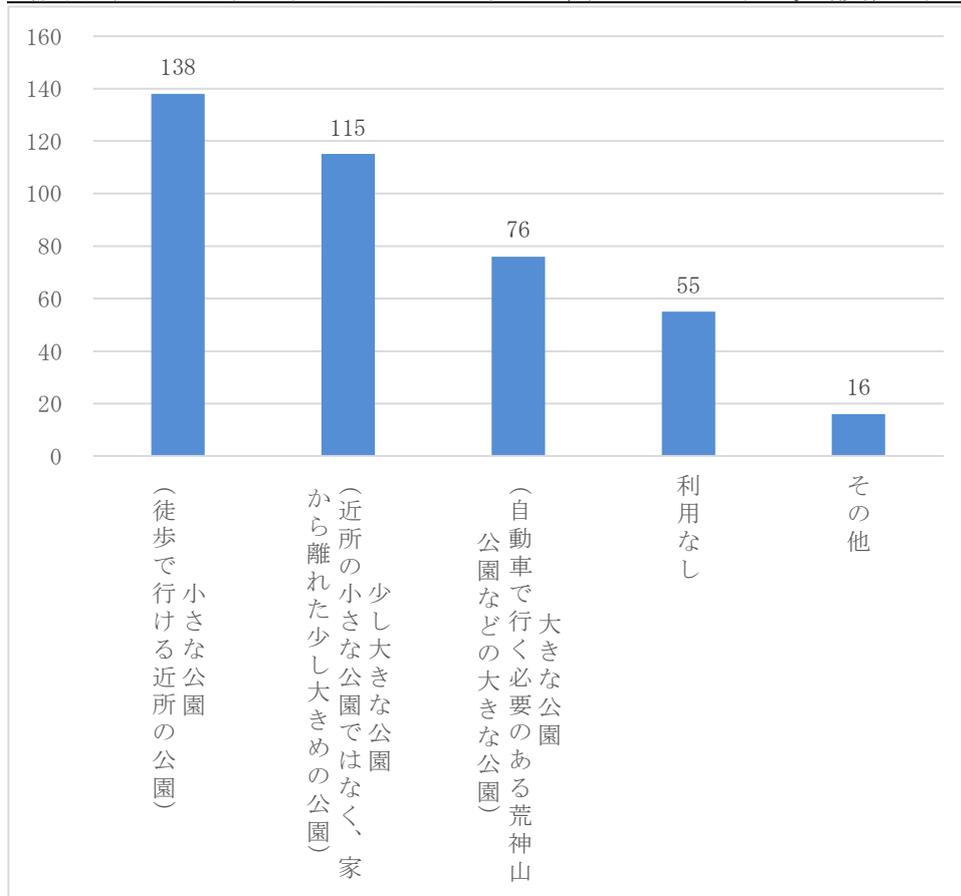


(その他の意見)

- ただし地域のイベントや地蔵盆で子供会や町内会が主催するのは認めても良い
- 先週も家の前のせまい公園で花火をしている人がいて火事になりそうなので警察に通報した
- 周囲の家に被害がある
- 常識のない方がいるから
- 公園の隣に住んでいるため放火されたら全てを失うから怖い
- 毎年夏になると湖岸で夜中に花火をしているグループの騒ぎ声やゴミの放置に迷惑しているので一切禁止にして
- 花火の煙でアレルギー症状が出たことがある
- 全部
- 除草等、公園管理がされていない
- やってもいいけどゴミもちゃんと持って帰るのであれば賛成派

公園での花火利用を反対する意見として、「ゴミの放置」が一番多く、「火事にならないか心配」や「治安の悪化」など安全面を心配する意見や、「騒音や煙が迷惑」や「路上駐車が迷惑」など周辺への影響を懸念する意見が多い結果となりました。このことから、花火利用に伴うごみの問題や公園周辺の安全面や住環境への影響が懸念されるため反対されていると考えられます。

(設問 6) 花火を利用するならどのような公園でしたいですか。(複数回答可)

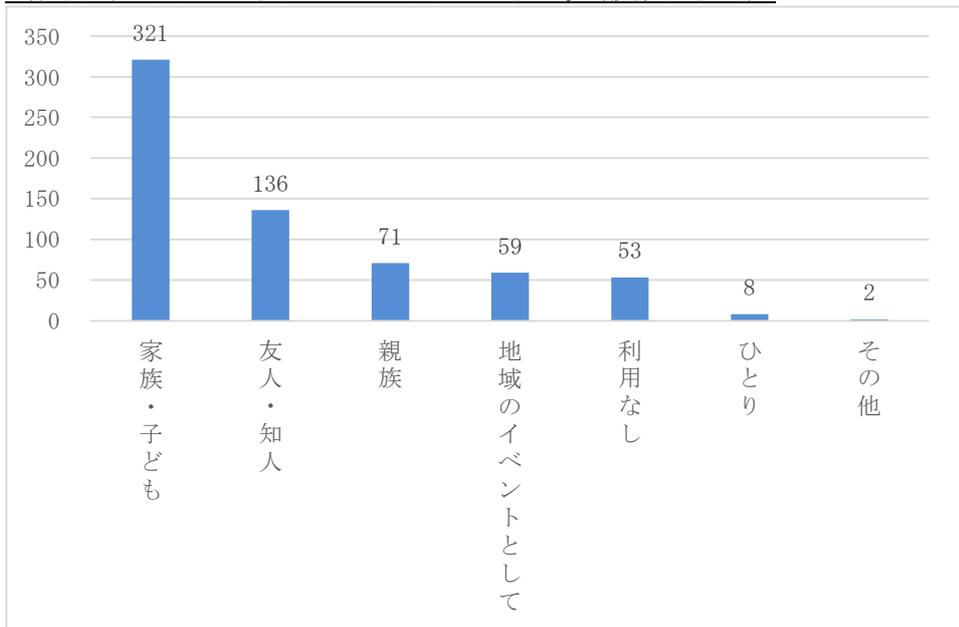


(その他の意見)

- 荒神山公園とあるが周りに燃えるものがない大きな公園で管理者のいる所
- 水場のある公園。噴水などが好ましい
- 金亀公園や図書館の駐車場など、広い空間
- 火事にならない場所
- 砂浜やコンクリートの場所など落ち葉がない場所。琵琶湖沿い、川沿い、海水浴場
- 規模感にこだわりはなく、駐車場のある公園が良いです。花火したい人がそこに行ける環境があればよいと思う
- 琵琶湖岸
- 公園ではしない
- 千鳥が丘公園、旭森ふれあい公園
- あらたな公園探索 スタンプラリー
- 琵琶湖湖畔の広場で実施してほしい
- 水道等、防火が出来るものがある公園
- 松原の砂浜
- 彦根市役所 駐車場
- 周りに燃えるものや家のない、防火設備のあるところ
- 水場が近くにあるところ

結果から、「小さな公園」での利用を希望する意見が最も多かったですが、移動手段を必要とする「少し大きな公園」や「大きな公園」での利用を希望するの意見も多結果となりました。このことから、移動手段を使ってでも安全に利用できる大きな公園での花火利用が求められていると考えられます。

(設問7) どなたと利用したいと思いますか。(複数回答可)

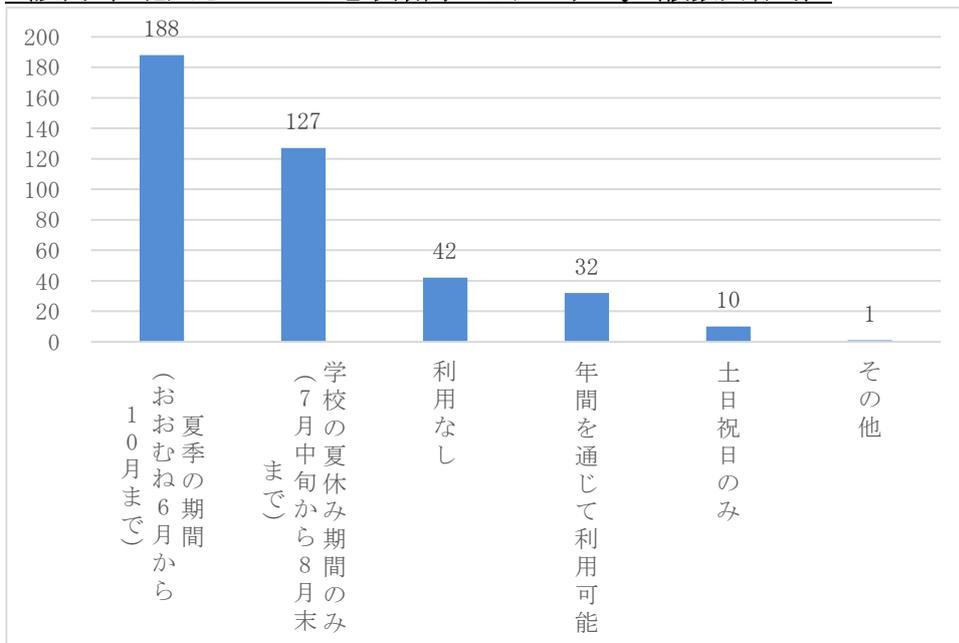


(その他の意見)

- カップル
- 近所の少ない子供達と保護者

結果から、「家族・子ども」と利用したい意見が最も多いことから、公園での花火利用が可能となった場合、子ども連れの家族が多く集まる可能性があると考えられます。

(設問8) 花火をしたいと思う期間はどれですか。(複数回答可)

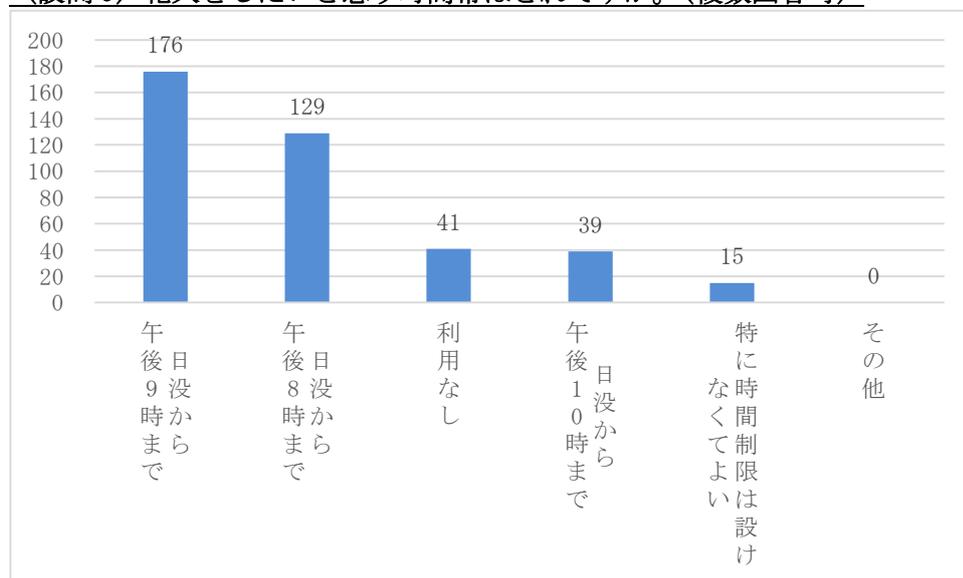


(その他の意見)

- 8月1日から10日まで

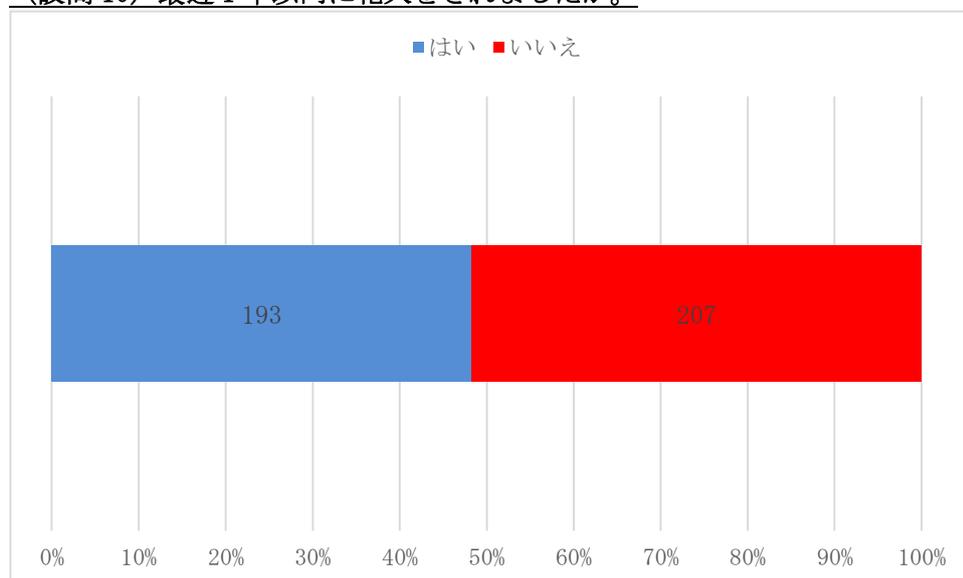
結果から、「夏季の期間」の回答が一番多いことから、夏休みに限定することなく、夜間でも一定暖かい時期である期間での実施を希望されていることがわかります。

**(設問9) 花火をしたいと思います時間帯はどれですか。(複数回答可)**



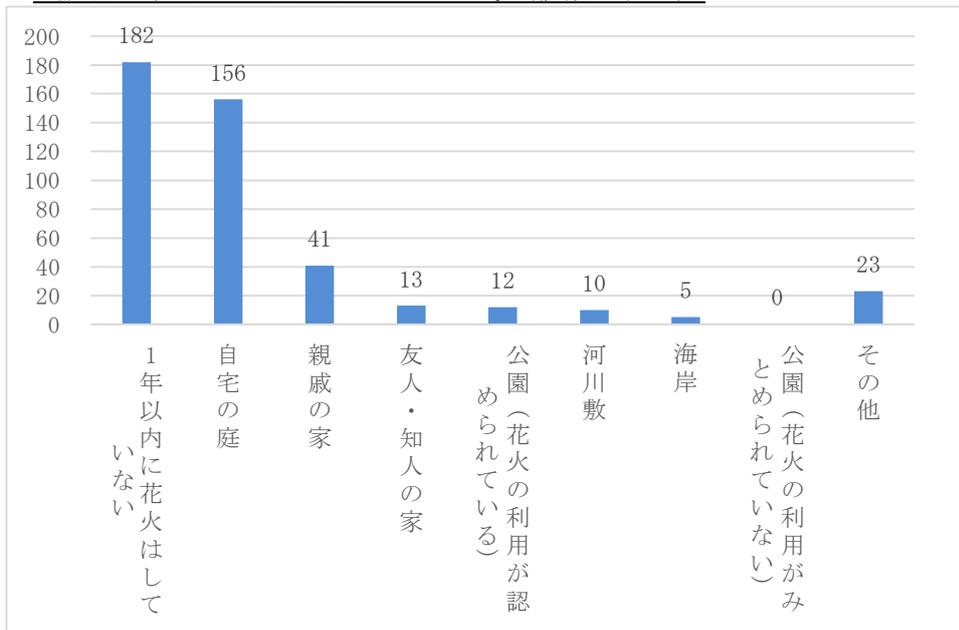
結果からは、「日没から午後9時まで」と「日没から午後8時まで」の回答が多いことから、花火利用実施の時間帯は日没から午後9時までの間で設定することが適切と考えられます。

**(設問10) 最近1年以内に花火をされましたか。**



結果から、最近1年以内に花火をした割合に大きな差がないことがわかりました。

(設問 11) どこで花火をしましたか。(複数回答可)

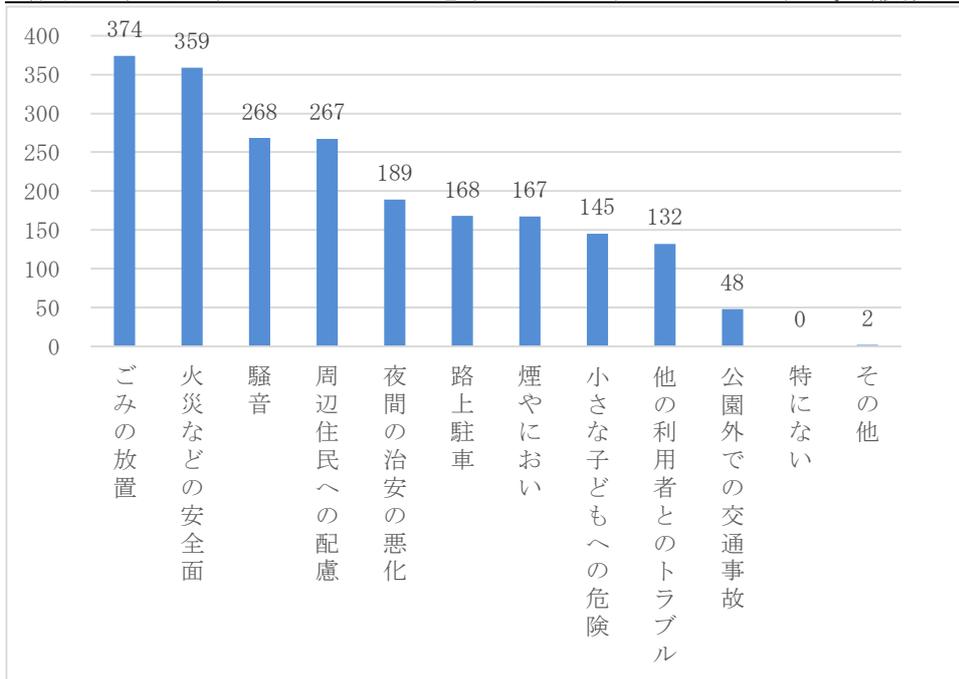


(その他の意見)

- 昔、周りに何も無い場所で
- 宿泊施設の一部
- ホテルの敷地内
- 宿泊先のコテージ
- キャンプ場(花火の利用が認められている)
- 神社の参道
- 自宅の駐車場
- 自宅の前の道路
- 自宅裏の道
- 実家の庭
- 近所の空き地
- 神社(地域のお祭り)
- 琵琶湖岸
- 自治会館の敷地内(自治会の祭り中)
- 公民館の前、子供会主催で

結果から、「1年以内に花火はしていない」との回答が最も多く、花火をした場合の場所としては、「自宅の庭」が最も多いことがわかりました。このことから、花火をする場合、自宅の庭や親せきの庭など個人の敷地内での利用に限定され、公共の施設など花火を楽しむ場所が少ないことが考えられます。

(設問 12) 花火利用にあたって注意すべきと思う点はどれですか。(複数回答可)

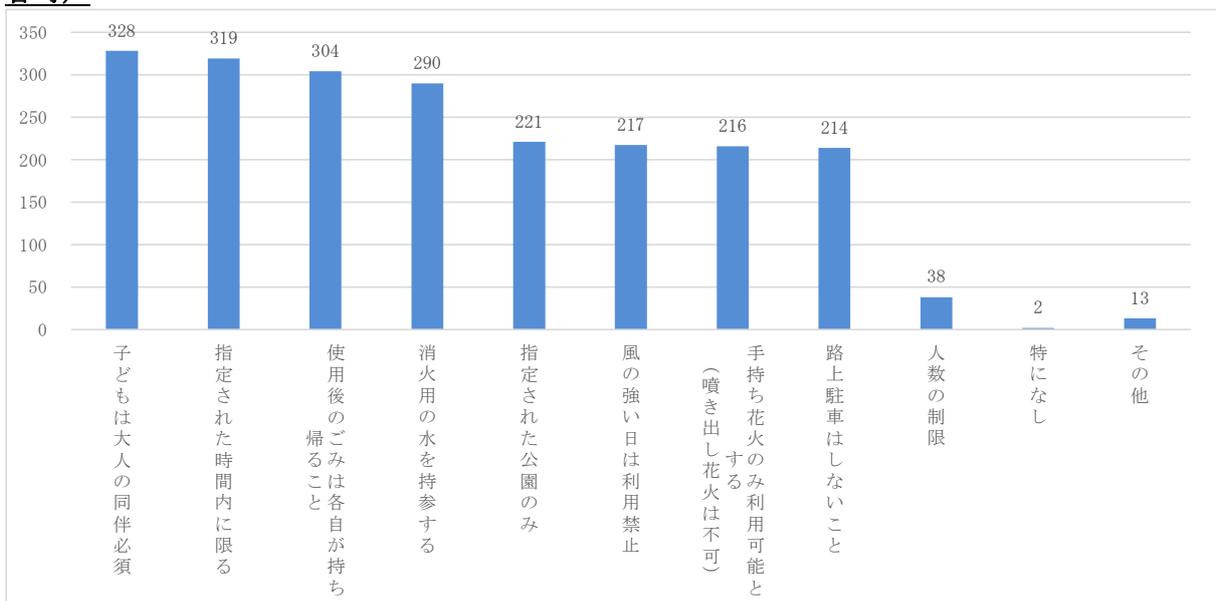


(その他の意見)

- 管理者を置くのかどうか、管理者の負担は？
- 人数制限 土地の広さにより、予約制

花火利用にあたって注意すべきと思う点について、「ごみの放置」と「火災などの安全面」に回答が多くありました。また、「騒音」、「煙やにおい」、「周辺住民への配慮」などの周辺への影響を懸念する意見が多いことから、花火利用実施の際には、ごみの問題、火災などの安全面、周辺への影響に配慮する必要があると考えられます。

(設問 13) 公園での花火利用時のルールについて必要と思うものを選択してください。(複数回答可)



(その他の意見)

- 安心のため管理者のいる公園のみ利用可能とすべし
- 大声で騒がない
- 禁止
- 監視カメラの設置、または事前申請
- 電子申請による事前申請と消火報告の義務
- 音の大きなもの、小さくても打ち上げ式のもの禁止
- 騒音を出さない
- どの誰なのか分かるようにする
- 常識のない方がいるからやめたほうがいい
- 使用者の個人情報
- 蛇口がある公園での実施またはバケツ持参すること
- 水道の無い公園は使用しないでほしい。また、事前の申請制度を設け監視員の配置もしてほしい
- トラブル時の通報先(警察など)記載

結果から、設問の回答項目のうち8つの項目について、回答者の半数以上が花火利用時のルールが必要と思っていることがわかります。花火利用実施の際には、これらの項目についてそれぞれ何らかのルールの設定が必要であると考えられます。

#### (設問14) その他ご意見などがありましたら入力してください。

その他の意見として合計89件の回答があり、それらの意見を大別すると、以下のようになります。

- 条件付きで花火利用を認めるべきとする意見 (約40%)  
花火を全面的に自由化することには慎重な立場ですが、時間帯、場所、花火の種類、保護者同伴、申請制等の条件を設けたうえであれば、公園や指定場所での利用を可能にして良いのではないかという意見です。
- 子どもの体験機会・場所不足を強く訴える意見 (約25%)  
住宅事情や近隣への配慮により、自宅や道路で花火ができず、子どもに花火を体験させられない現状が課題であり、花火は夏の風物詩であることから、成長過程における大切な経験として、安全に実施できる場所の提供を求めている意見です。
- 管理強化・制度整備を前提とする慎重賛成意見 (約20%)  
花火利用そのものには理解を示しつつも、現状のモラルや治安を踏まえ、厳格な管理体制が必要であると考えており、監視カメラ、警備員配置、届出制、罰則、看板設置など、実効性ある制度整備を強く求める意見です。
- 公園での花火に反対・禁止を支持する意見 (約10%)  
火災、騒音、ゴミ、治安悪化、近隣住民への影響を重大な問題と捉え、公園での花火は原則禁止すべきとの意見です。
- 公園以外の代替案を求める意見 (約5%)  
公園での実施は困難としつつ、琵琶湖岸、運動場、砂浜、期間限定イベント等、管理しやすい場所や形式で実施すべきとの意見です。

### 3. まとめ

回答者の多くは、近所の公園だけでなく、移動手段を使ってでも公園が花火の利用に適している場所と考えており、公園内での花火利用のニーズは高いことが分かりました。しかしながら、花火利用による火災や治安の悪化などの安全面や、ゴミ放置や煙・臭いといった周辺住民への影

響を心配する声も多く、花火利用実施の際には、これらの課題を解決するためのルール作りや体制を整備する必要があります。

今回のアンケート結果を踏まえ、今後は、公園内での花火利用について、一定のルールを設けたうえでの試験運用について実施する方向で検討を進めてまいります。